

第6次 富士宮市 総合計画

【概要版】

富士山を心に
人の和と豊かな自然が織りなす
幸せ感じる富士宮



序論

第6次富士宮市総合計画とは

総合計画は、まちづくりの基本方向を示すとともに、分野別のまちづくりを進める上での最上位計画であり、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」からなる三層構造で構成します。

また、「富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を盛り込んだ計画となります。

計画等	年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
基本構想		【第6次富士宮市総合計画】									
基本計画		前期基本計画					後期基本計画				
実施計画		第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	後期基本計画の実施計画を策定				

富士宮市が取り組むSDGs（持続可能な開発目標）

第6次富士宮市総合計画は、市民・事業者・行政が共有する「将来都市像」を実現するための指針であり、持続可能な社会の実現を掲げるSDGsの理念や目標と方向性を同じくしています。

SDGsの17のゴールは、環境、福祉、産業、まちづくりなど、自治体行政や市民生活と密接に関わる分野で構成されており、総合計画を着実に推進することはSDGsの達成にもつながります。

特に富士山を有する本市にとって、自然環境の保全と地域の持続的発展は重要な責務であり、「富士山SDGs」を共通の指針として活用することで、多様な主体との協働を促進し、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを進めていきます。



基本構想

将来都市像

富士山を心に 人の和と豊かな自然が織りなす 幸せ感じる富士宮

恵まれた自然環境を最大限に活用し、富士山を誇りに暮らす人々が、互いに支え合うことで、市民一人ひとりが幸せを感じられるまちを共に創りあげていくことを将来の目標にするものです。

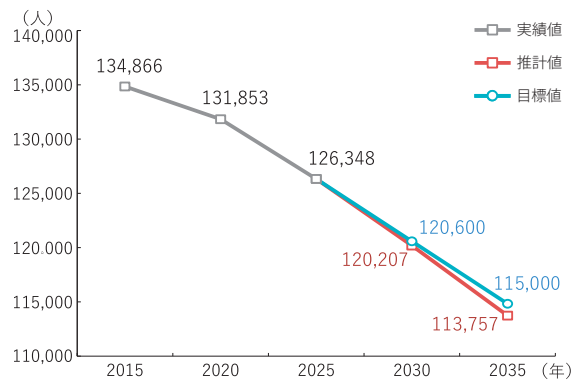
市民一人ひとりの幸福実感を重視する「ウェルビーイング（幸福）の視点」を市政運営に取り入れ、行政だけでなく、市民、企業、団体などが共創して、将来都市像の実現を目指します。

将来人口

本市の将来推計人口は、今後も減少傾向が見込まれ、このままでは令和7（2025）年からの10年間で約12,600人減少することが予想されます。

そのため、合計特殊出生率低下の抑制と市外への転出超過数の縮減、純移動率の改善に取り組むことで令和17（2035）年の目標人口を115,000人として設定します。

将来推計人口及び目標人口



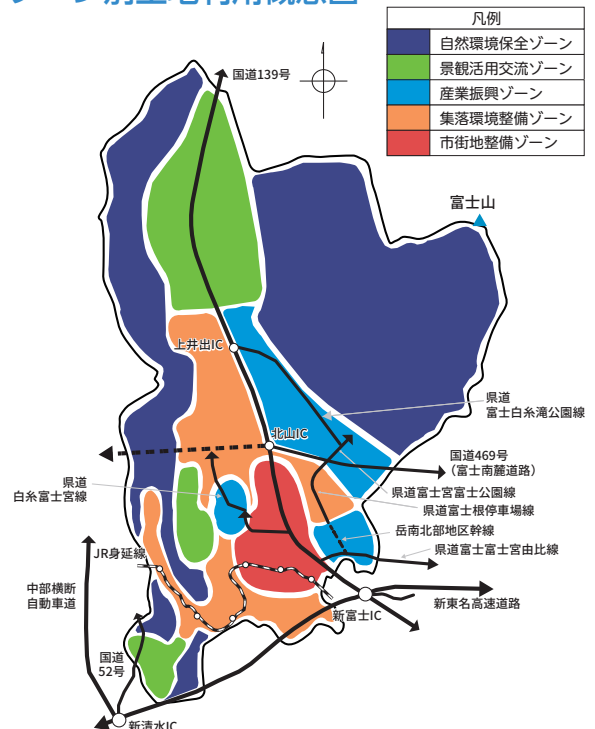
資料：2025年までは住民基本台帳人口（4月1日現在）、2030年以降は住民基本台帳結果をもとに推計

土地利用構想

土地の利用に当たっては、自然環境の保全と安全性の確保に努め、地域の自然的、社会的、経済的、文化的な諸条件に配慮し、新東名高速道路、国道139号、国道469号（富士南麓道路）や今後整備が計画されている富士富士宮道路等の主要幹線道路を最大限に活かした総合的かつ計画的な土地利用を図っていくことが必要です。

基本構想では、市全体が調和の保たれた発展を成し遂げられるよう市域を5つのゾーンに区分し、各地域の特性を活かした土地利用の方向を定めています。

ゾーン別土地利用概念図



前期基本計画

重点取組・重点プロジェクト

将来都市像にふさわしい未来へつなげる持続可能なまちづくりを進めるため、本市が総力を挙げて取り組む4つの重点取組を定めました。この取組に沿って重点的に事業を進めていきます。

取組 1 地域の魅力を活かしたにぎわいづくり

世界遺産「富士山」をはじめとする地域の魅力を最大限活用して、まちににぎわいを創り出すとともに、市民にとっても住み続けたいと感じる魅力的なまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

- 1 市民が誇れる品格ある美しいまちを形成する
- 2 歩いて楽しめる魅力ある中心市街地を形成する
- 3 自然を守り活用することで、地域の力を未来へつなぐ
- 4 市民の日常の楽しみを創出し、地域活動の充実を図る
- 5 地域と人の魅力を活かして、観光客の滞在時間を延ばす
- 6 富士宮市で暮らす魅力を再発見・再認識する

成果指標 (KPI) 主観指標[※]

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市はにぎわいがあり魅力的なまちである	3.1	3.5

取組 2 若者や女性にも選ばれる地域づくり

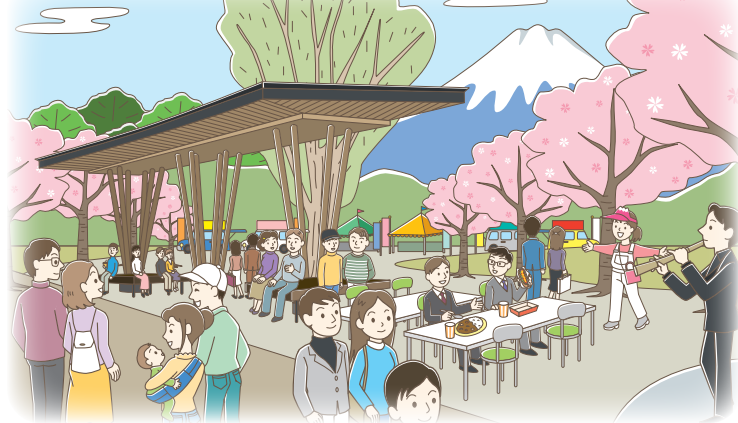
人口減少が進む中、市民一人ひとりが協力し合い、安心して暮らせる生活環境や希望を持てる就労環境を整え、若者や女性にも住みたいと思われるまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

- 1 出会いをつなぎ、結婚・出産までを共に育む
- 2 地域が一体となって、子育てを応援する
- 3 魅力的な仕事と多様な働き方の選択肢を提供する
- 4 若い世代に多様な住環境の選択肢を供給する
- 5 地域の未来を拓くU I Jターンを促進する

成果指標 (KPI) 主観指標[※]

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は若者や女性が住みたいと思うような魅力的なまちである	2.8	3.2



取組 3 安心して健やかに暮らせる幸せづくり

予測が難しい自然災害などへの備えはもとより、医療や福祉、地域コミュニティが充実し、年齢を問わず誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

- 1 地域のつながりを強化し、災害リスクに対する不安をなくす
- 2 暮らしを守るインフラの整備で、安全・安心なまちを実現する
- 3 世代を超えて支え合い、地域が一体となって健康寿命を延ばす
- 4 地域とともに、医療・福祉のネットワークを構築する
- 5 安心して住み慣れた地域で暮らし続けられる環境を創出する

成果指標 (KPI) 主観指標※

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は誰もが健康で安心して暮らせるまちである	3.4	3.7

取組 4 明るい未来を支える人づくり

幸福を実感できる明るい社会を目指し、未来を担う人材の育成や市外に住みながら継続的に地域に関わる人を創出するまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

- 1 協働によるまちづくりで未来を拓く
- 2 学びを力に、未来の担い手を育成する
- 3 富士宮市の応援団を増やし、共に明るい未来を創る
- 4 多様性を尊重し、誰もが輝く未来を創る

成果指標 (KPI) 主観指標※

指 標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市では、将来の地域を支える人材が育っている	2.7	3.2

※主観指標は、1～5段階評価で実施した市民アンケート調査の平均値を示しています。具体的には「非常にあてはまる」を5点、「全くあてはまらない」を1点として、それぞれの点数に百分率を乗じて指数化し、その合計を平均値としています。

基本目標別計画

1 くらし・安全 共に支え合い、安全・安心に暮らせるまちづくり

コミュニティの充実を図り、防災・減災対策を進めるとともに、年齢や性別、国籍を問わず、互いにつながり合いながら、安全・安心に暮らせる地域社会を形成します。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
コミュニティ活動	地域の人たちの交流や活動が、活発に行われています	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域交流拠点の充実 2 地域コミュニティ団体への活動支援 3 持続可能な地域コミュニティづくりの促進
多様性の尊重	誰もが互いに尊重し合い、個性と能力を発揮できる環境が保たれています	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様性についての理解の促進 2 困難な問題を抱える人を支える社会づくりの推進 3 人権の尊重・非核平和の推進
国際化・多文化共生	互いの文化を理解し、地域で国際化・多文化共生が進められています	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際交流の促進 2 多文化共生社会の推進 3 グローバル人材の育成
交通安全	交通安全の意識が高く、事故のない環境が保たれています	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通安全意識の普及啓発 2 交通秩序の維持 3 交通安全施設等の整備
防犯・消費生活	犯罪を未然に防止し、安全・安心な暮らしが保たれています	<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯対策の強化と犯罪被害者への支援 2 消費生活の安定と向上 3 暴力団追放運動の推進
防災・減災	自助・共助が実践され、地域の防災力が維持されています	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の防災・減災力の向上 2 防災・減災基盤の強靱化 3 国民保護法に基づく体制の整備
消防	災害や事故に対して、迅速に対応できる体制が確保されています	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防体制の強化 2 火災予防対策の推進 3 救急体制の整備

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
自治会活動などの地域活動に参加しやすい	3.0	3.4
個人が尊重されている	3.2	3.5
日常の様々な場面で、安全・安心を感じる	3.4	3.7
富士宮市は、防災対策がしっかりしている	3.4	3.7



2 環境

富士山の恵みに育まれた環境を未来へつなぐまちづくり

富士山がもたらす豊かな水資源や自然環境、景観を保全するとともに、安全で快適な生活環境を保つことで、市民が誇りとする郷土を次の世代に継承していきます。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
地球環境	地球環境の保全に向けて、エネルギーを有効に利用しています	<ol style="list-style-type: none"> 1 地球環境保全活動の強化 2 ゼロカーボンシティの推進 3 エネルギーの有効利用と地産地消の推進
生活環境	環境にやさしい持続可能なまちになっています	<ol style="list-style-type: none"> 1 循環型社会の推進 2 良好な生活環境の確保 3 持続可能な廃棄物処理体制の整備
自然環境	大切な自然環境を守り育てています	<ol style="list-style-type: none"> 1 生物多様性保全の推進 2 自然環境の保全と活用 3 自然環境保護活動への支援
景観	富士山が美しく映える景観が創られています	<ol style="list-style-type: none"> 1 景観資源の保全と活用 2 景観形成の推進
花と緑・水辺	花と緑と水辺から、潤いと安らぎを感じています	<ol style="list-style-type: none"> 1 花と緑のまちづくりの推進 2 水辺空間の形成
水利用	限りある水資源を守り、有効に活用されています	<ol style="list-style-type: none"> 1 地下水・湧水の保全と活用 2 水資源かん養の推進

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組が盛んである	3.5	3.8
富士宮市の空気や水は澄んでいてきれいだ	4.4	4.5
富士宮市は、身近に自然を感じることができる	4.4	4.5
富士宮市には、自慢できる景観がある	4.4	4.5



3 こども・教育文化 **こどもが健やかに成長し、心豊かな人が育つまちづくり**

こどもの健やかな成長を切れ目なく支えるとともに、市民が郷土の自然や歴史、文化を学び、自分らしく心豊かに暮らせる環境づくりを進めます。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
こども・若者・子育て	こども・若者・子育て家庭の思いが実り、笑顔があふれています	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域における子育て・子育て支援の推進 2 保育・就学前教育の体制確保及び推進 3 こどもや家庭への多角的な支援 4 若者の思いが実る環境づくり
青少年健全育成	地域ぐるみで、心身ともに健全な青少年を育む体制が整えられています	<ol style="list-style-type: none"> 1 青少年活動の充実 2 育成環境の充実
学校教育	豊かな人間性や社会性を持つ児童生徒が育っています	<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力を育む教育の推進 2 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進 3 持続可能な教育環境の整備
文化・芸術	地域の歴史・文化を学び、郷土に愛着を感じる心豊かな人が育まれています	<ol style="list-style-type: none"> 1 世界文化遺産富士山の継承 2 文化芸術活動の活性化 3 文化財の保存・活用
スポーツ・レクリエーション	それぞれの興味や関心に合わせて、誰もが気軽にスポーツに親しんでいます	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツに親しむ環境づくりの推進 2 スポーツを活かしたまちづくりの推進
生涯学習	多様な学習機会が確保され、誰もが生涯にわたって学び続けています	<ol style="list-style-type: none"> 1 誰もが学び合える学習活動の推進 2 多様なニーズに応じた学習環境の充実

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市は、こどもがいきいきと育つ環境が整っている	3.4	3.7
富士宮市は、教育環境（小中学校）が整っている	3.4	3.7
文化、芸術、スポーツが盛んであり、それらを行う環境が整っている	3.2	3.6
富士宮市には、学びたいことを学べる機会がある	3.0	3.4



4 健康・福祉 誰もが健やかで安心できる暮らしを地域で支えるまちづくり

生涯にわたる健康で安心な暮らしの実現と、自分らしくいきいきと暮らせる社会の実現に向けて、切れ目のない支援体制の充実を図り、地域で支える環境づくりを進めます。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
健康づくり	共に助け合い、誰もが健康で安心して暮らしています	1 健康づくりの推進 2 保健・予防の推進
医療	地域医療が充実し、安心して医療が受けられています	1 地域医療体制の確保 2 市立病院の医療環境の充実
地域福祉	誰もが生きがいや役割を持ち、地域で支え合いながら暮らし続けています	1 地域福祉意識の向上 2 包括的な支援体制の構築 3 地域づくりを担う主体間の連携の推進
高齢者福祉	高齢者が、生きがいと尊厳を持って元気に暮らしています	1 自立と社会参加の促進 2 福祉環境の整備・充実 3 地域生活支援体制の充実
障がい者福祉	障がいのある人が、住み慣れた地域で自分らしく暮らしています	1 安心して地域生活を送るための支援 2 社会参加をするための支援
社会保障	誰もが必要な支援を受けられ、安心して生活が続けられています	1 生活困窮者の支援 2 国民健康保険・後期高齢者医療制度の運用 3 介護保険の安定運営 4 国民年金制度の普及・啓発

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
私は、健康な状態である	3.7	3.9
富士宮市では、安心して医療を受ける体制が整っている	3.2	3.5
住み慣れた地域で暮らし続けることができる	3.8	4.0
富士宮市では、健康・福祉の分野で、困ったときに相談ができサービスを受けられる体制が整っている	3.2	3.6



5 産業 富士山の恵みを活かした産業振興と働きやすさの両立したまちづくり

富士山の恵みである豊かな資源を活かして、商工業、観光、農林水産業が発展した活力あるまちを創出していくとともに、誰もが働きやすい社会づくりを目指します。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
労働・雇用	多様な人材が、安心していきいきと働き続けています	1 魅力的な就労環境の創出 2 地域に根差した人材の確保
企業誘致・留置	人と地域を生かした豊かな産業が集積されています	1 持続的発展に向けた産業基盤の強化 2 戦略的な企業誘致・留置の推進
商工業	中小企業等事業者が地域経済の原動力となり、まち全体が活力にみなぎっています	1 活力ある地域経済を支える産業の振興 2 中小企業等事業者の生産性向上・経営力の強化 3 まちのにぎわいづくりの推進
観光	観光資源の魅力を認知し、自信と誇りを持って市外の人におすすめできるまちになっています	1 観光ブランディング戦略の構築 2 観光マーケティングの推進と観光プロモーションの強化 3 受入態勢の整備による誘客の促進
農林水産業	富士山の恵みを活かした農林水産業が営まれています	1 生産基盤の整備促進 2 安定経営のための支援の強化 3 農林水産業資源の保全と活用
食	富士山の豊かな水に育まれた食を、誰もが楽しめるまちになっています	1 食のネットワーク化による経済の活性化 2 「地食健身」の推進によるシビックプライドの醸成

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市には、働きやすい職場環境が整っている	3.0	3.4
富士宮市は、やりたい仕事を見つけやすいと思う	2.7	3.1
富士宮市には、新たなことに挑戦・成長するための機会がある	2.8	3.2
富士宮市への観光を市外在住者に勧めたいと思う	3.6	3.9



6 都市整備 富士山の魅力を活かした快適な居住環境を創造するまちづくり

誰もが安全・安心に利用できる都市基盤整備を進め、富士山の魅力を活かした快適な居住環境とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
市街地整備	回遊性のある機能的な市街地が創出され、快適に生活を営んでいます	1 計画的な市街地の形成 2 市街地の都市機能の向上 3 地域資源を活かしたまちづくりの推進
道路	誰もが安全で快適に道路を利用しています	1 快適な交通環境の確保 2 道路ネットワークの充実 3 広域幹線道路の整備促進
公共交通	誰もが移動に困らない便利な公共交通ネットワークが構築されています	1 公共交通ネットワークの充実 2 公共交通サービスの推進 3 官民連携による交通システムの整備
住宅・住環境	安心して長く暮らし続ける住宅が確保されています	1 快適な居住環境の整備 2 空き家対策の推進 3 地域特性を活かした集落環境の形成
治山・治水	自然災害等に対する備えが進んでいます	1 治山・治水事業の推進 2 砂防事業の推進 3 災害未然防止の対応
公園	誰もが公園で心癒され、楽しんでいます	1 多様なニーズに対応した公園の整備の推進 2 持続可能な維持管理の推進
上下水道	安全な水の供給と処理により、清潔で快適な暮らしが保たれています	1 安全な生活用水の安定した供給 2 持続可能な下水道施設の機能確保 3 生活排水対策の推進

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
市内道路の利便性に満足している	2.9	3.3
富士宮市の公共交通（☆）の環境に満足している ☆路線バス、タクシー、鉄道、宮バス、宮タク	2.5	3.0
居住環境に満足している	3.5	3.8
水道水の品質の良さに満足している	4.1	4.3



7 共創 便利で質の高い行政サービスを市民と共に創るまちづくり

市民の主体的活動と多様化する社会に適応した行政の取組が相互に補完し合い、デジタル技術や民間活力を効果的に活用しながら、便利で質の高い行政サービスを提供します。

政策	目指すまちの姿	施策の内容
行財政運営	変化やニーズに柔軟に対応した持続可能な行財政運営が図られています	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的・計画的な行財政運営の推進 2 効率的・効果的なマネジメントの推進 3 多様な主体との連携強化
市民協働	協働の輪が広がり、多様なつながりが創出され、市民主体による活動が地域の魅力を高めています	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民参画・市民協働の促進 2 多様な市民活動への支援 3 協働意識の醸成と人材の育成
広聴広報	市政情報が正確かつ迅速に提供され、魅力的なまちと感じる人が増えています	<ol style="list-style-type: none"> 1 効果的できめ細やかな情報発信の推進 2 戦略的なシティプロモーションの推進 3 双方向コミュニケーションによる広聴活動の推進
まちのブランド形成	地域資源や魅力が効果的に発信され、様々な人から高い評価が得られています	<ol style="list-style-type: none"> 1 魅力の発掘・向上によるシビックプライドの醸成 2 移住・定住の促進 3 関係人口の創出・拡大
デジタル社会	安全に共有された情報が活用されることにより、地域の幸福度が向上しています	<ol style="list-style-type: none"> 1 DXがもたらす住民サービスの向上 2 DXがもたらすスマート行政の推進

達成状況を測るための指標（主観指標）

指標	基準値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
富士宮市の行政は、地域のことを真剣に考えている	3.1	3.5
市民への情報発信が積極的に行われている	3.2	3.6
富士宮市に愛着や誇りを持っている	3.7	3.9
富士宮市では、行政サービスのデジタル化が進んでいる	3.1	3.5

発行 : 富士宮市 企画部 企画戦略課
〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地
電話 : 0544-22-1113
e-mail : kikaku@city.fujinomiya.lg.jp
ホームページ : <https://www.city.fujinomiya.lg.jp/>